

白石町長  
コラム  
Vol.52

# 「不易流行」

よき伝統を守りながら(不易)  
進歩に目を閉ざさないこと(流行)によって

「理想」を創造する

## 二つの映画に共通するところ

去る11月8日に米子市文化ホールで映画「咲む」の上映会があり、鑑賞してきました。この映画は全日本ろうあ連盟70周年記念映画で、江府町内でも主に現在の役場庁舎で撮影が行われました。映画では「久仁木村」役場という設定でしたが、見る人が見れば江府町役場だということは一目瞭然です。一年前に行われた撮影では、町民の方や役場職員もエキストラで参加、しっかりと映っていた人もあれば、そうでない人もあったような…。

平井知事も村長役で出演されており、何十年ぶりかで村に生まれた子どもの出生届に立ち会い、「おめでとうございます！」という強烈なセリフを発して、存在感を大きく示されていました。

この映画を観てからしばらくしたある日、江府町人権・同和教育研究会で「ゆずり葉」という映画を観ました。これも全日本ろう



▲映画「咲む」のロケ地となった江府町役場本庁舎（現庁舎）

映画「咲む」には、現在の江府町役場がしっかりと記録されています。ぜひ多くの町民の方にこの映画を観ていただけたらと思う、江府町内での上映を検討したいと思います。

あ連盟の記念映画でしたが、脚本、監督は「咲む」と同じく早瀬憲太郎さんです。まったく印象の違う2つの映画でしたが、障害があるがゆえに立ちほだかる困難に、まっすぐぶつかって進んでいく姿勢、そして、その行動で周りにいる人たちに大きな影響を与えていくところは共通していると思えました。さらに、どちらの映画からも大きな感動をいただいたこと

# 「信頼され、期待に応える役場づくり」プロジェクトチーム(※)活動報告



これまでの活動はこちら！  
これまでの活動の様子はQRコードを読み取ることでご覧いただけます。

リーダーである白石町長が作成した具体的行動基準の案について、メンバーで議論を重ねながら加筆・修正を行い、全職員へメールで送りました。そして、全職員のうち7名から、案に対する意見や提案がありました。プロジェクトチームでは、7名からの多様な意見や提案について、再度メンバーで集まり、一つひとつ精査をしていきました。

「クレド」は信頼され、期待に応える役場づくりを役場全体に浸透させていく推進力とすることを目的としているため、すべての職員にとっての行動の指針となります。そのため、「とるべき行動がどのようなものであるべきか」ということを、全職員へ具体的にわかりやすく伝えないとはいけません。

現在、「江府町職員として

※「信頼され、期待に応える役場づくり」プロジェクトチームとは・・・町長をプロジェクトリーダーとし、町長により選任されたメンバーで構成。令和2年8月20日に結成し、「信頼され、期待に応える役場づくり」について課を越えて取り組む。